栗駒山

○概況

火山活動に変化はなく静穏に経過しました。

・地震活動（図１）

火山性地震は少ない状態が続いています。
火山性微動は観測されませんでした。

平成 18 年度の現地観測の一環として、宮城県栗原市栗駒（栗駒山山頂の南東 3.5km）に地震計を設置し、10 月 12 日から観測を行っています。

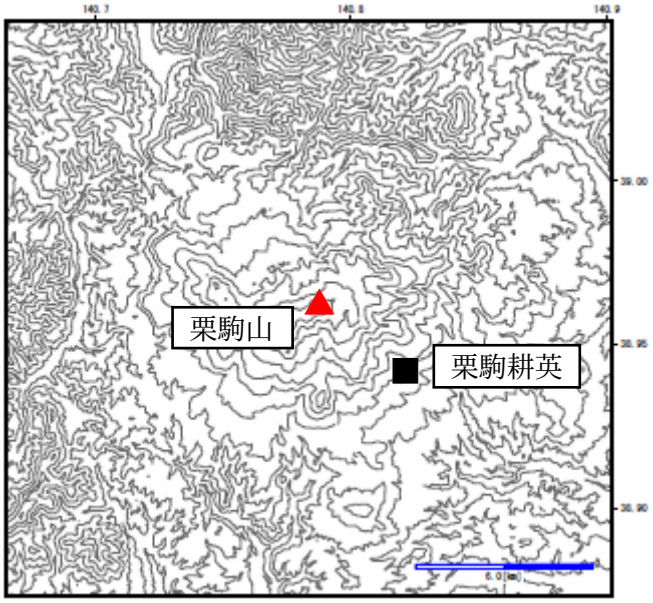

図１　栗駒山観測点配置図
■：地震計

・熱活動（図２～図４）

10 月 20 日に実施した現地観測の結果、前回（1992 の状況に特段の異常はなく、落ち着いた状態でした

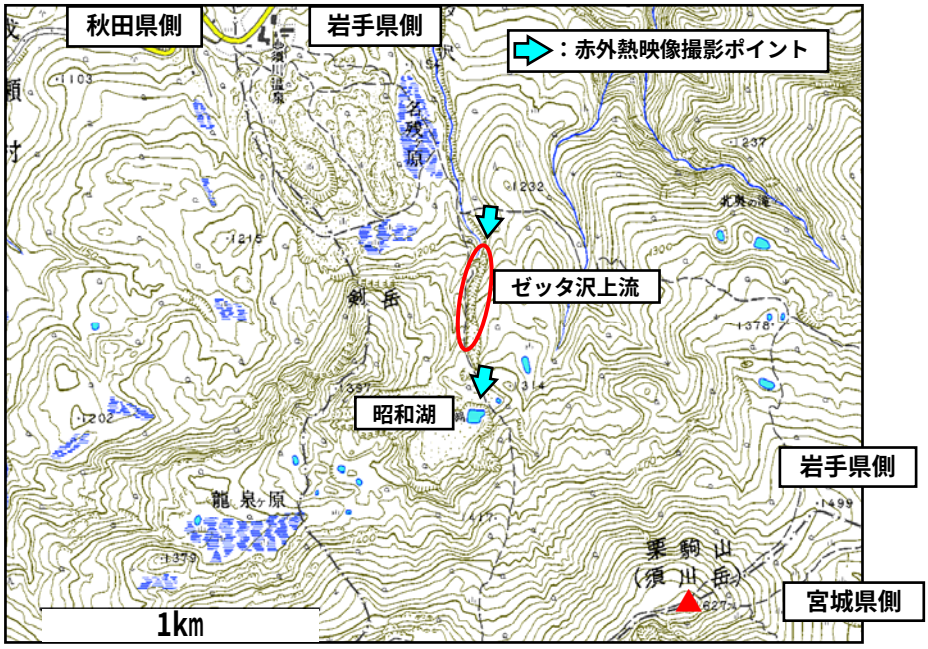

図２　栗駒山の地形図と赤外熱映像撮影ポイント

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用したものである。（承認番号　平 17 総使、第 503 号）
本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「２万５千分の１地形図（新庄）」を複製したものである。（承認番号　平 17 総使、第 550 号）

栗駒山現地観測の状況（2006 年 10 月）

10 月 20 日に栗駒山の現地観測を実施しました。その結果、前回（1992 年８月 20 日）と比較して、噴気、地熱地帯の状況に特段の異常はなく、落ち着いた状態にあることを確認しました。

ガスの噴出により立ち入り禁止地帯であるゼッタ沢上流でも、噴気や地熱の異常は見られず、前回と変わらない状態でした。

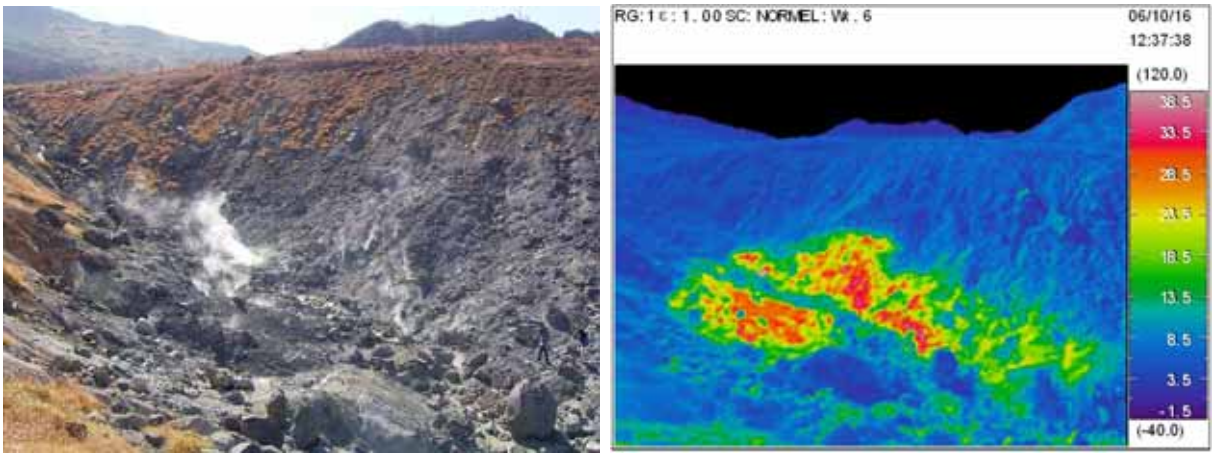

図３　ゼッタ沢上流の可視画像（左）と赤外熱映像（右）

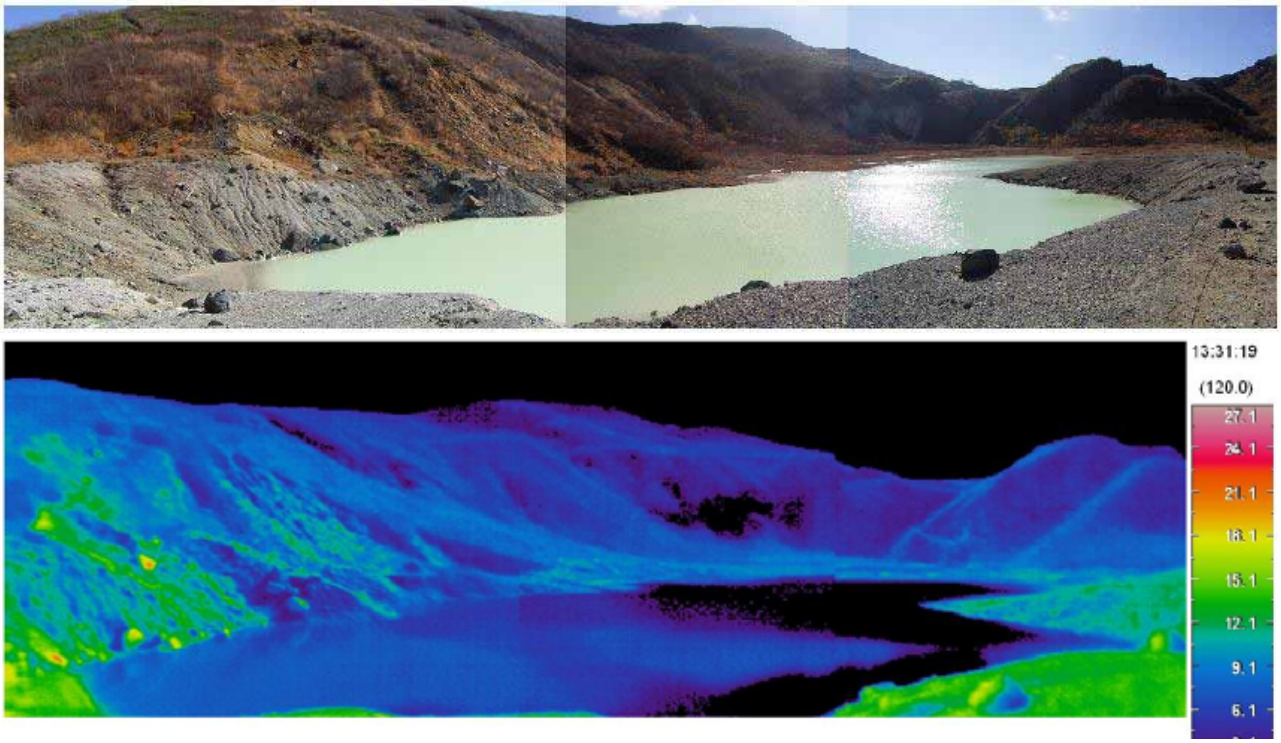

図４　昭和湖の可視画像（上）と赤外熱映像（下）